

# 八月号

今月の十人+1

鳳凰原岬

鳥さんの瞼

深山睦美

全美

きんかく

彩結ゆあ

森屋たもん

ただのたなか

鈴木智花

武井窓花

はるかぜ

発行人 鳳凰原岬  
二〇二五年八月十日 発行



## し 鳥さん の 瞳

ひらきっぱなしの廊下のドアもなつかしくなる時は来るあなたの死後に  
ぶどうからぶどうの枝をとりはずす すべての死に名前はつけられる  
もし明日あなたが死ねば Google におずやることをきく私だろう  
ひつたりと看護師さんがさす針の安楽死ってこんなつめたさ?

## 離れないでね 全美

世界は相変わらず隣にあつて仲良くなくとも離れないでね  
また今日も知らない土地を映しだすテレビだけが忙しそうに  
熱風が吹く街にいてここではないどとかを思う田園都市線

ベルベル人のベルベルのところが愛おしい風の通り道  
モロッコに行きたい人たちを集めてモロッコの魅力を聞きたい  
青壁に溶け込むように作られた青空を吸い込むように作られた肺  
猫がまた猫を呼ぶ毎日中の街に溶ける影法師五つ  
サヨナラが似合う街でカタコトのサヨナラを聞くサヨナラを言う  
わたしまだここにいたい いればいい いてもいい 声が聞きたいだけ  
見たことも触れたこともない土地を地図の上だけとして生きる  
喫茶ジャマイカの店主が来年初めてジャマイカに行くんだって

## side 魔女 鳳凰原岬

もう二度と王子に焦がれはしないよう帰つておいで泡の姿で  
本当は王子のことは好きじゃないあなたの喉が欲しかつただけ  
大丈夫いつまで待つて待つてるね人魚は泡に泡は人魚に  
血しぶきのかわりにとぶの水しぶき返り水つてなんだか綺麗  
いつの日かわたしの胸に飛び込んで来たなら声をかえしてあげる  
誰かとの幸せないとするなら失ったあの日の声の中がそうかな  
陸なんてもう懲りたでしょ?恋よりもすごい魔法をみせてあげたい  
誰かとの幸せなんて祈らないわたしあなたを幸せにする

## 永遠不滅 深山睦美

「命」と言つて命のポーズをしたくなる赤ちゃんとかをふいに見た時  
満月と叫んで走る満月を見るたび皆が思い出すよう  
ありのままの自分自身を受け入れる必要は無い心に虹を  
大丈夫死ぬこと以外かすり傷生きているだけでもかすり傷  
折り鶴が逃げ出さぬよう羽根を挽ぐ夢を見ていた船の形で  
中身より字の汚さが注目を集めた少年Aの告白  
私にも夢はあると思つてた夢はあるかと訊かれるまでは  
白鷺が墨を垂らしていくように友達だったことありがとう  
流れ星・・・あの人の右目と左目を入れ替えて

「靈夢です」「靈夢以外だぜ」「今日は自他境界について解説するぜ」



【五十首連作より抜粋】

## 等身大のなつやすみ

## 彩結ゆあ

日々を食べすぎてしまつて過食気味 地下鉄で涼むこともあるよ  
カナブンがトイレの窓で騒いでいる豊かさ測ると残酷だろうか  
プールサイド覚えていない夏のこと日記も絵も描けなくて良かつた  
教室と唱えるたびに身ぶるいをするあまりにも青すぎた海  
青空の色を思い出せなくてサニーレタスを二枚食べる  
陽が落ちるぼろりぼろりと暮れてゆく 無意味なるべく許してよ地球  
海の絵にいつかの約束がうかんで百万円でも買うとこだつた  
知つてゐるふりしていたこと知つてゐるふりして塩加減が不明瞭  
呪いつてもつとこわいものだと思つていた 買つて解決できたらいいよ  
これから天気予報は虹だから長ぐつカッパなみだ乾くよ

## 近所の定食屋に僕はまだ行けない

## ただのたなか

洗濯機ぐるぐる回る土曜日に行こうと思つて行かずに終わる  
ポストには光るメニューのチラシだけ誰かと食べる気配などせず  
食パンの焦げた部分を削りたるその間だけは世界が止まる  
くたびれたTシャツひとつで買い出しへ人目にして戻る交差点  
冷蔵庫のもやしの袋が泣きそうで賞味期限の声が聞こえる  
エアコンのリモコン見つからぬだけだ冷蔵庫だつて応援してる  
フライパンのへりでのたうつ卵焼き箸で息の根止めるかのごと  
カーテンが昼の重さで揺れている誰もいない部屋に光だけ差す  
洗剤を切らして三日目 泡のない洗い物にも慣れてしまつた  
冷凍の唐揚げが僕の家族なら電子レンジは神かもしねない



The 50回転ズというスリーピースロックバンドについて きんかく

汗だくのオカッパおじさん三人が救いだつたりする二十代

コロナ禍に待ち続けているレスポンス 私も叫んでしまったかった  
離せないギターピックがあるせいでやむを得ず立てられる中指

ロックとはひとつの意志でこの星の全ての窓を割るということ

何番煎じだたとしても私には意味でしかない 生きているから

似合わないなりに愛しているせいでアイデンティティのないラブソング

ロックンロール少年院へ行きましょう衝動だけを篝火として

泣きそうな夜はブルース処方して私の空洞に響かせて

やめないで 一番星になるためにあなたがマイクにする口づけを

## mix 森屋たもん

パスワード忘れた僕の mixi を眺めてめっちゃ共感してる  
元カノの日記を堂々と読みに行く足あと廃止を知つてゐるから  
レビュー欄でベタ褒めしてるCDを多分僕だけまだ聴いている  
「もう無理」から始まる日記を書いていたあいつは今も無理でいてほしい  
そななんだ味方がいない気がしてるんだねコメント数ゼロなこと  
二〇〇五年三月僕らは就職してその辺の日記は見たくない  
本名でネットをやるという事は今の僕にもまだできてない





## あれがわたしの空だった 武井窓花

寂しいが繭だった日々のそばにある銀色の東急東横線  
空がない、という人の居て空を見たあれがわたしの空だった日に  
強すぎる風の日だったタクシーを待っていたし愛を待っていた  
空がない、といふれる空よこの灼けるやうな陽射しは江ノ島よ何故

拭つても拭つても汗 人間のからだのふたりえのすいに行く  
弁天の嫉妬くらゐで揺らぐならそれつて愛の方が脆いな  
相模湾大水槽の前に立つ青とみどりとまばゆいひかり  
マイワシの群銀色に輝いて魚前式つていいんだやないか  
魚と目があふ気の所為ではないと思ふアクリルガラス60センチ  
くらげくらげくらげ漂ふアカリウム口づけするにほどよい暗さ  
イルカショーア最後の回を待ちませうたこ焼きとチュロス分け合ひながら  
抱き合つて見つめあふのとおなじくらゐおんなじものをあなたと見たい  
いますこし手を繋いだまま歩きたい人もまばらに暮れる江ノ島

企みが明るみになる七月の反射をかえす首都のビル街

僕たちは見たこともない富というものに隠されてある落書き

実はねと打ち明けるとき知つていてほしいあなたを好きであること

靴底に滲む熱とか雨とかが僕を笑顔にするものがたり

街路樹が丁寧に折りたたまれて今朝受け取ったからありがとう

改札を流れて向こうへゆくひとの顔を見ながら話がしたい

街を去る朝にやつて来た男は都会で生きてから世を去つた

強すぎる風の日だったタクシーを待っていたし愛を待っていた

空がない、といふれる空よこの灼けるやうな陽射しは江ノ島よ何故

## 魚前式 鈴木智花

相模湾大水槽の前に立つ青とみどりとまばゆいひかり  
魚前式つていいんだやないか  
マイワシの群銀色に輝いて魚前式つていいんだやないか  
魚と目があふ気の所為ではないと思ふアクリルガラス60センチ  
くらげくらげくらげ漂ふアカリウム口づけするにほどよい暗さ  
イルカショーア最後の回を待ちませうたこ焼きとチュロス分け合ひながら  
抱き合つて見つめあふのとおなじくらゐおんなじものをあなたと見たい  
いますこし手を繋いだまま歩きたい人もまばらに暮れる江ノ島

遠巻きに双子を見ている公園の撤去された遊具の余白  
感情は大きなダムで飼い慣らし消毒液をどばどば入れた  
甘いものを差しだすひとの気遣いに食べたくないと言えず、ふたつも  
予定通り復帰しますと電話してコーヒーを飲むそういう自由

日常が戻りつつある早朝はロイター板の逆上がりたち

いつせいいに鳩が飛び立つ駅前で腹式呼吸を思いだせそう  
いつもよりゆつくり話す女医の目は哀れみ帶びていそう見れない  
芽がでても仕方のなかつた種もあるみたいに背中をさする看護師  
簡単なことではないと知りつつも授かるという動詞のだるさ  
入院は一泊のみと短くてしかし一生休みたかった

## そういう自由 はるかぜ

### X account

鳳凰原岬	@tankaofmisaki
鳥さんの瞼	@withoutSSRI
深山睦美	@57577_77575
全美	@ZENMIN15
きんかく	@kingkaku_tanka_
彩結ゆあ	@iromusubi_yua
森屋たもん	@monsontanka
ただのたなか	@Shironopa_ka_
鈴木智花	@suzukitomoka106
武井窓花	@tanka_madoka
はるかぜ	@spring_bird_gr

デザイン・編集：はるかぜ @spring\_bird\_gr



いつもよりゆつくり話す女医の目は哀れみ帶びていそう見れない  
芽がでても仕方のなかつた種もあるみたいに背中をさする看護師  
簡単なことではないと知りつつも授かるという動詞のだるさ